



校長室より



令和 7 年 8 月 5 日

自分らしく生きる 豊かに生きる

No.1 7

夏の研修会を開催しました

7 月 30 日（水）、ロシア・カムチャツカ半島付近を震源として発生した巨大地震による津波への対応から、和歌山県に津波警報が発令されました。発令時は、本校で年に一度の「教育と福祉の連携協議会」がスタートして間もない時間帯でした。講演会は、中止となり、参加者や教職員も避難対応をとることとなりました。海拔が 9m あるとはいえ、海岸に近い本校には緊張感が走りました。今回は津波の高さが低かったため胸をなでおろしましたが、警報が半日続いたことで生活に影響した方も多かったのではないのでしょうか。南海トラフ地震への備えを再度確認していきたいですね。

8 月 4 日（月）、和歌山県病弱虚弱教育研究協議会の総会及び夏の研修会が、美浜町中央公民館をお借りして開催されました。この会は、和歌山県における病弱虚弱教育の研究推進と同教育の振興をはかることを目的とし活動していて、本校が県内唯一の病弱教育を行う特別支援学校として、そのセンター的機能を実施する主たる取組の一つです。総会では、県内の病弱虚弱特別支援学級設置校から現状を報告いただき、課題を共有しながら話し合う場をもてました。研修会では、和歌山県立医科大学附属病院でチャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）として活躍されている西尾綾子氏にお越しいただき、「病気のこどもの心のサポートについて」専門職の立場から話をしていただきました。病気で入院している子どもたちは、検査、処置の見通しがもてないことの不安や家族と離れて病院にいること、学校に行けないことなど多くのストレスを抱えています。その一つ一つの不安や恐れに対して、受け止めてあげたり見通しが持てるように説明したり、気持ちに寄り添う声かけを行ったりされています。そして実際には、ストレスをうまく表出したり、心をいやしたりできる遊びを通して、子どもたちにアプローチされています。病気と闘う子どもたちはスーパーヒーローです。そのヒーローを陰ながら支えはげましている CLS という専門職の尊さを知ることができました。

